



# 常任委員会

# で議案を審査

すべて可決すべきものと決定

## 総務文教常任委員会

〔1項目を審査〕

### 平成30年度燕市一般会計補正予算(第7号)

**問** 体育施設管理運営費の修繕料の補正について、市民プール等の修繕が必要になった原因は何か。

**答** プールサイドの補修、排水ポンプ、男子トイレの故障などによるもの。この市民プールのほかに、一般に開放している分水プール、また、今年度予定している吉田ゲートボール場の修繕など、いずれも緊急を要するものであるが、要望に沿いながら計画的に行っていく。

**問** 総務管理費の町内関係費における自治会集会所の建設費補助金算定基準について伺う。

**答** 補助対象経費の30%に当たる額を補正額とする。

**問** 中学校費の部活動外部人材活用事業の減額について、今後、どのような計画で事業の充実を図っていくのか。

**答** 来年、市のガイドラインを早期に策定、公表させていただき、その後、児童生徒、保護者、指導者の皆さんと合意形成を図りながら、新年度から指導員を配置していきたい。

## 市民厚生常任委員会

〔6項目を審査〕

### 燕市税条例等の一部改正について

**問** 人格を持たない団体の電子申告について伺う。

**答** 人格を持たない団体とは、例えばPTAなどの法人登記をしていない団体、財団などで、仮に事業で収益が出たとしても電子申告の義務化を適用しないものである。

### 平成30年度燕市一般会計補正予算(第7号)

**問** 介護基盤緊急整備臨時特別補助金返還金の経過について、また、屋内ゲートボール場改修事業補助金の市の負担について伺う。



屋内ゲートボール場「すばーく燕」

**答** 介護基盤緊急整備臨時特別補助金返還金の経過については、屋内ゲートボール場改修事業補助金の市の負担について伺う。

### 平成30年度燕市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

**問** 国庫支出金等の返還金について伺う。

**答** これは、対象となる医療給付費の32%相当が国から交付されるもので、当該年度は概算で交付を受け、翌年度に精算が発生する。国の平成29年度予算が、平成27年度から発生した高額薬剤の影響が続く見込みにより算定されたことで、平成29年度の交付が過大となり、結果的に、返還金が増加することとなった。

〔その他〕

・燕市有料駐車場条例の一部改正について

・平成30年度燕市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

・平成30年度燕市介護保険事業特別会計補正予算(第1号)

## 産業建設常任委員会

〔3項目を審査〕

### 燕・弥彦総合事務組合の共同処理する事務の変更及び燕・弥彦総合事務組合規約の変更について

**問** 統合の内容及び今後のスケジュールについて伺う。

**答** 現燕庁舎で水道事業の経営を行う。職員数については、燕市の水道局職員23名、弥彦村の企業職員2名の25名を予定し業務量に応じて調整される。今議決後、両市村長による協議、県への許可申請という段取りで進め、組合の条例に水道事業に関する条規を制定する。交付金の活用が1年前倒しで見込めるため、経営だけに統合し、平成32年4月1日に事業統合する。

### 平成30年度燕市一般会計補正予算(第7号)

**問** 中小企業金融対策費の補正の内容及び融資の利用増について伺う。

**答** 制度融資の金利引き下げや信用保証料の制度拡充により利用が増えている。直近3力年の平均増加率から補給の年度末の見込みを積算し、当初予算額との差額を補正増している。平成30年4月から7月までに新規に融資を受けた小規模事業者が16件で、内訳としては製造業10件、

建設業3件、小売業・卸売業・サービス業が各1件である。融資の内容としては、7割強が運転資金で、市内の中小零細企業の活動が活発になってきていると捉えている。

**問** 道路維持費及び消雪施設整備事業の工事内容について伺う。

**答** 舗装修繕については、当初予算と合わせて地元からの要望に対しては52%ほど要望を満たしている。防犯灯のLED関係についても約52%要望を満たしている。いずれも切実な要望であることは十分理解しており、効率的な事業費執行に努めて、少しでも地元の要望に応えられるようにしたい。道路照明の修繕40灯については、交差点照明などの球切れや安



道路舗装修繕工事

**問** 県営住宅管理費の工事費について、火災のあった県営住宅の解体時期や居住者の移動希望、保険金の対象について伺う。

**答** 議決後入札を行い、11月頃から解体工事を考えている。また、居住者の希望は十分把握した上で対応している。保険金については、今回は6戸中4戸が対象になっている。

**問** 経営基盤強化促進対策事業について、農家の経営安定について伺う。

**答** 組織化・法人化を進めていくことが1つの方向であると考えている。目安となるモデル経営指標についても作成している。

〔その他〕

・平成30年度燕市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)